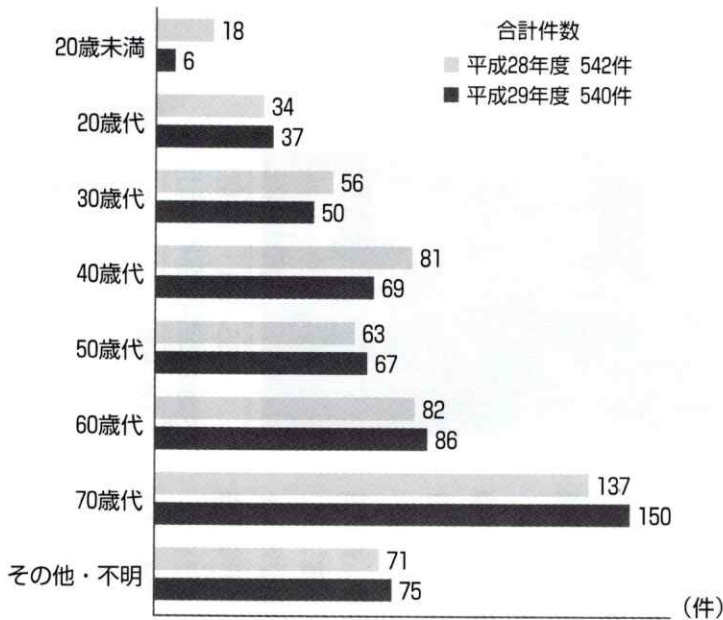


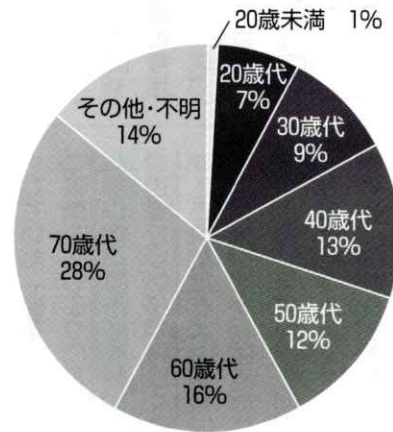
平成29年度に高砂市消費生活センターに寄せられた相談・苦情をまとめました

高砂市消費生活センター ☎443-9078

1 相談件数年齢別・前年度比

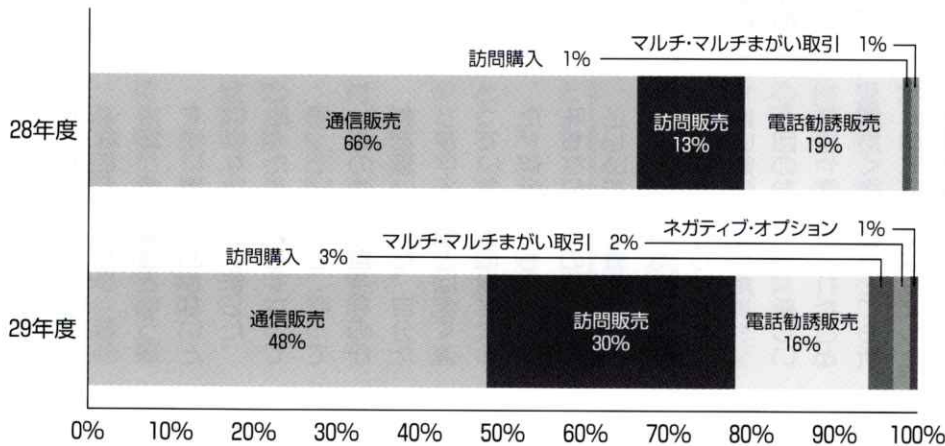


2 契約当事者年代



相談件数は28年度に比べ2件減少しており、70歳代の相談件数の増加が目立ちます(図1)。契約当事者では、60歳代と70歳以上を合わせると、全体の44%と大きな割合を占めています(図2)。

3 特殊販売購入形態別・前年度比



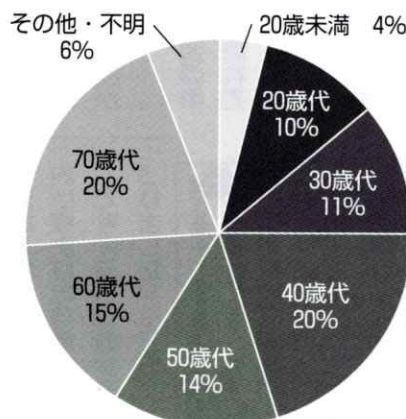
通信販売が特殊販売購入形態別相談件数の大きな割合を占めていますが、減少傾向にあります。反して、訪問販売の相談件数は昨年度に比べて2倍以上に増加しています(図3)。また、通信販売のトラブルは年代に関わらず起こっている(図4)のに対して、訪問販売のトラブルは60歳代と70歳以上を合わせると、全体の6割以上(62%)を占めています(図5)。

【特徴】

昨年と同様、60歳以上の高齢者がトラブルに巻き込まれているケースが目立ちます。また、訪問販売のトラブルが多くなっており、中でも突然業者が来訪し、「瓦がずれている」などと不安をあおり、高額な屋根修理を勧められたという相談が増えています。訪問販売で契約した場合、特定商取引法に基づき、法定書面を受け取った日から8日間はクーリング・オフが可能です。

勧誘や契約で不審な点があれば、消費生活センターへご相談ください。

4 通信販売に関する契約当事者年代



5 訪問販売に関する契約当事者年代

